

倉吉市立小学校適正配置【灘手地区】説明会 概要

倉吉市教育委員会事務局

- 1 日時 平成29年7月4日(火) 19時30分～21時10分
- 2 場所 灘手公民館大会議室ほか
- 3 出席者 住民、学校関係者：33名
市教委：教育長、福井教育委員、田民教育委員、事務局長、学校教育課長
指導主事 等
市長部局：企画振興部次長兼総合政策課長

4 概要

- (1) 教育長あいさつ
- (2) 資料説明(学校教育課長)
- (3) 質疑 (○…質問・意見 →…教育委員会回答 ●…教育委員会発言)

○私はこの会は大事な会だと思って地域として参加しているが、その地域の参加が非常に少ない。
この説明会の案内は、公民館協議会長に依頼するとか、防災行政無線で放送するとか、どのように広報がしてあるか。

→この説明会の開催については、まず自治公民館協議会長さんへ日程調整し、その後、自治公民館長へちらしを回覧していただくようお願いしている。また、防災行政無線での放送や学校の方からも通知をしてお知らせをしている。

- (4) 適正配置に関する課題と対策について(グループ協議)

※「将来のくらし【灘手地区】を考える」を記載後、3グループで話し合いを行った。

【話し合いでの意見等】

①地区の現状はどうか(元気が・・・)

- 地域の仲が良く、近所付き合いも良い。
- 地区の行事が盛んで、文化祭等のまとまりも良い。
- 子どもが身近で元気があるし、親も元気がある。
- 子どもを中心に外部(学校・地域・他の保護者)と繋がっている。
- 子ども達が地域に大事にされている。
- ◆会合等の顔ぶれがいつも同じ。若い人が少なくなった。
- ◆人数が少なく保護者として負担感がある。
- ◆地区行事など、やらされ感がある。

②学校の現状について(児童が・・・)

- 基本的には活発である。
- 一人ひとりが活躍する場面がある。
- 休憩時間は全校児童で校庭で遊んでいる。
- ◆ややおとなしい面もある。
- ◆修学旅行に他校と一緒にいった時、年によるがおとなしいと感じる時もある。

③小学校適正配置について気がかりな点について

- ・この会に保護者の参加が少なく、その保護者の関心のなさが一番の気がかり。
- ・子ども達に多人数の中で授業をさせてやりたいし、この推進計画も進めてもらいたい。
- ・地域との繋がりが弱くなるのではないか。
- ・通学距離、安全面が心配。(特に低学年)
- ・都会に出て行った子ども達が、ふるさとに帰って来てほしい。
- ・灘手、成徳の反対はどう改善し進めていくのか。
- ・小学校がなくなったら、灘手地区は消えてしまう。
- ・住もうと思う人が少なくなってしまう。
- ・子ども達を見て未来を考えるが、未来を背負う子ども達が見えないと不安になる。

④解決する手がかりについて (①～③の課題・問題点を解決する方法など)

- ・少人数が良いとは言え、競争心は必要である。学力の面を考えると多人数で競争心が芽生える方が良い。学校を残したいと思えば、人口を増やす努力を行政任せにせずに考える必要がある。
- ・ディベート(反対・賛成の意思を逆の立場)にしてする。本音や知恵が出てくるのではないか。
- ・この人数しか来ないことが一番の衰退する原因。まずは意思表示をして、来てほしい。
- ・地域の皆さんに出てください、どのように擦り合わせていくか考える。
- ・いろいろな意見を出し合うことが必要である。
- ・計画のスピードをあげる前に、明倫小と成徳小と一緒にいるが、地区の反対も強く温度差を感じる地区内で話し合いが必要。

その他

- ・成徳小学校に3小学校は入らないのか?
→耐震化に伴う国からの補助金を申請する際には、その時点での児童数が対象であったため、1クラス分の校舎である。したがって、校地は改修工事を終えている明倫小学校と考えている。
- ・中学校の適正化も考える必要がある。
- ・自分たちがしている定住化対策(脱過疎化)の取り組みが無駄にならないように、この推進計画をゆっくり進めてほしい。

(5) グループのまとめ発表

(6) 閉会

5 アンケートでの感想、意見等(回収26名) 【別紙】

将来のくらし【灘手地区】を考える(回収20名) 【別紙】